

令和元年度 香川県立琴平高等学校 学校評価

本校では次の教育方針のもと、本年度の重点目標を掲げ教育活動に取り組んできました。

【教育方針】

心身を鍛え、生涯にわたって学び続ける意欲を養い、地域社会の一員としての自覚と国際的視野を育み、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい人間の育成を目指し、次のような教育方針のもと、家庭や地域との連携を図りつつ、明るく活力に満ちた学校づくりを推進する。

1. 人間や自然を愛する心を養い、心ゆたかな誠意ある人間の育成に努める。
2. 自主、自立の精神を養い、心身ともにたくましい熱意あふれる人間の育成に努める。
3. 広く高い知性を養い、郷土を愛し、社会の発展に貢献する創意に満ちた人間の育成に努める。

【本年度の重点目標】

地域社会で活躍するたくましい人材の育成 — 地域で学び、地域で育つ琴高生 —

- ①基礎学力の向上 ②基本的生活習慣の確立 ③進路意識の高揚 ④地域連携の推進

今年度の教育活動に関して、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケート(生徒・3年保護者・教員)を実施しましたのでその結果を報告します。

また、令和2年2月に学校関係者評価委員会を実施し、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケートの集計結果を提示し、分析と協議を行った結果、下のような学校関係者評価をいただきました。

○学校関係者評価

【学校評価アンケート・生徒からの授業評価等について】

○学校評価アンケートでは琴平高校での生活への満足度が3年生で最も高くなっている。後輩に対してもよい助言ができています。これは琴平高校の教育効果の表れであり、よいことである。

○教育相談のあり方について、「相談に来るのを待つ」ではなく、積極的に働きかけ、教職員で困り感を抱えている生徒の情報を共有する会を持っているのはよい点である。

○体育の授業評価で「もっと質問の時間がほしい」という項目が他教科に比べて多いのは生徒が積極的に学ぼうとする姿勢の表れであるので、全ての教科でそうなるように工夫して授業を行ってほしい。

○英語の予習・復習の時間が他教科よりも多少長いのは小テストなどを生徒に課し、定着を図っているためであるとのことなので、他教科にも広めてほしい。

○これだけのアンケートを実施し、その内容を教員間で分析し、改善策を講じているのはよいことである。

【教育活動等について】

○アクティブラーニングに取り組むことで、生徒の家庭学習が増加することが理想である。家庭学習時間が増加するような取り組みにするとよい。

○電子黒板が導入されたが、生徒の興味関心は大いに高まることが期待できるのでとにかく使っていただきたい。また、タブレットも40台導入されたが、十分なWi-Fi環境を整えるべきである。

○地域と繋がるボランティア活動はおおいに地域に貢献できている。琴平高校なくては成立できないイベントもある。大学のボランティアサークルでは活動内容を褒章の対象としているところもある。琴平高校でも町と連携して優れた活動や回数に応じて表彰するなどを考えてもよいのではないかと。

○生徒の読書量を増やす工夫として生徒に読んでほしい図書の推薦文をトイレに掲示することを秋から始め、その後、図書の貸出数が大幅に増加したようである。このような工夫を行い、継続して貸出数が増やせられることを望む。

自己評価表（校務分掌、学年団）

※ 実施状況は、中間評価は9月末。A＝「目標達成に向けて順調に取り組んでいる」、B＝「目標達成のために部分的な取り組みの見直しが必要である」、C＝「目標達成のためには大幅な取り組みの見直しが必要である」 最終評価は1月末。A＝「達成できた」 B＝「かなり達成できた」 C＝「達成できなかった」

分掌	本年度の重点目標	具体的取り組み (数値目標)	実施状況 (中間評価)	取り組みの見直し	実施状況 (最終評価)	評価と来年度の課題
教務部	生徒自身が自ら興味・関心を持って授業に取り組むことで、進路実現に向けた学力をつけさせる。	生徒の興味・関心を引き出す魅力のある授業を行うため、AV 機器、まなボード、ICT 機器を活用した授業を全ての教員ができるようにする。	B	全ての教員が機器の活用を行うための説明会などを設ける。具体的には、今後導入予定の電子黒板の説明会を行い、先生方への啓発を行う。	B	電子黒板導入説明会は実施できた。ICT 機器の導入に伴い、生徒用タブレットや電子黒板の具体的な活用を行っていく。そのため教科を中心に、活用するための実践を考える機会（各学期1回程度）を計画する。
	地域に必要とされる琴高生になるため、地域や家庭との連携を深めるための学校づくりを行う。	地域に開かれた学校を目指し、参加する保護者や地域住民が前年より増加するよう学校行事を行う。異種武道大会などの日程等を見直し計画する。	B	他の分掌と連携し、生徒が活躍できる地域の行事等を掌握し、生徒へ呼びかける。 校外で活躍する琴高生を見ていただくことで、琴平高校の公開行事への参加を促す。	B	今年度公開授業の検討が行えず、地域に発信する学校行事を増やすことができなかったため、他分掌と連携し掌握する。 また、校内で行われる学校行事で公開できる機会を増やし、教育効果の低い行事は減らす。親しみが持てる学校づくりができる行事を計画できるようにする。
生徒指導部	基本的生活習慣の確立	遅刻者数の削減 (前年度比10%減)	B	遅刻生徒についての情報交換を担任とよりこまめに行い、家庭の協力も呼び掛ける。	C	1月末現在前年度比20%増。 遅刻数の多い生徒の中には教育相談的配慮の必要な生徒が増えてきたため、担任・教育相談部と連携して個別の対応が必要である。

		校門指導及び担任・学年団との連携強化による服装・頭髪指導の徹底	A	校門指導の担当職員や担任・学年団と連携をとり、複数の職員で協力した指導が行えている。	B	校門指導の担当職員や担任・学年団との連携により、協力して指導を行った成果が見られた。一部の生徒に関しては引き続き根気強く指導する必要がある。
進路指導部	進路意識の高揚を図り、生徒一人ひとりの進路実現を支援する。	オープンキャンパスや進学説明会、企業見学などに積極的に参加させる。(1、2、3年生の参加率50%以上)	B	進路見学会実施を機に、改めて、進路について調べさせたり、進路相談会、オープンキャンパス等の案内を充実させ、参加を促す。	A	1年生69.3%、2年生53.8%、3年生88.9%で目標を達成できた。また、進路見学会は進路を考える良い機会になったと思う生徒が85%以上いた。来年度は低学年から進路意識を高揚するための対策をさらに充実させたい。
	地域の中で自分の役割を果たすために必要となる基礎学力を身につけさせる。	学びの基礎診断結果分析会への教員参加率50%以上	B	1学期に実施した学びの基礎診断結果分析会は3年団対象としたが、1、2年生の結果分析会は学年団を超えて参加を呼びかける。	B	10実施1、2年生学びの基礎診断の結果分析会教員参加率は88%で目標を達成できた。今後は結果分析を基に、生徒の基礎学力向上を目指して授業改善につなげていけるように話し合い、提案をしていく。
特別活動部	特別活動に積極的に参加することを推進し、協調精神や自己肯定力の育成を図る。	生徒の部活動参加を強く呼びかける。生徒の励みになるよう各部成績の広報活動の充実。 (部活動入部率90%以上)	B	現時点で部活動に参加していない生徒に対して、各部の活動状況や、部活の意義を伝えることで、部活動参加への関心を持たせる。 (1年80%、2年78%、3年85%、全体81%)	B	多くの生徒が部活動に精力的に参加しているが、初めから参加しようとならない者や途中で辞めてしまう者も少なくない。2、3年生の部活動の途中入部はなかなか難しく、部活動参加については、入学直後の呼びかけが最も重要である。新入生に向けて、各部の活動状況や、部活の意義を伝えることで、部活動参加への関心を持たせるように、行事などを計画する。(1年80%、2年78%、3年85%、全体81%)

	学校内外の活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	各行事における生徒のそれぞれの役割の明確化。 (行事後アンケートの生徒満足度80%以上)	A	これまでの行事については、ほとんどの生徒が満足できている。生徒たちがより主体的に、積極的に活動できるように計画していきたい。(体育祭満足度90%、琴高祭満足度91%)	A	ほとんどの生徒がこれまでの行事に満足できている。来年度についても、生徒たちがより主体的に、積極的に活動できるように計画する。(体育祭満足度90%、琴高祭満足度91%)
人権・同和教育部	教職員の人権問題に関する認識の深化や授業における指導力の向上を図る。	現職教育やLHRの事前研修、研修会への参加等を利用して、教職員の認識の深化を目指す。	B	LHRや事前研修は計画通りに実施できている。現職教育については今後実施予定である。	B	LHRや事前研修は計画どおりに実施できたが、来年度は、実施内容の変更を検討していきたい。現職教育は実施できなかったため、来年度は必ず実施したい。
	地域社会や小中学校、保護者との交流を通じて情報交換を密にし、進路保障の協力体制を築く。	小中学校との交流や、地区で開催される行事に多くの職員が参加することで、地域社会との連携を目指す。	B	琴平町の研修会には新転任の教員全員が参加した。小中高の連携については、定期的実施している。	A	地元との交流は、文化祭等計画的に実施できた。小中高との連携も、定期的実施できた。来年度は、さらに交流を深めていきたい。
保健環境部	生涯を通じて健康な生活を送るために、健康について自ら考え実践する力を育てる。	健康診断の結果からの病院へかかる受療率の向上のための指導、助言を行う。(受療率50%以上)	C	精密検査については、現在のところ約10%と受療率が低い。冬期休業中には受診が完了するように、学級担任から生徒、保護者への呼びかけなどを行いたい。	C	精密検査について、冬期休業中などに受療するよう、学級担任からの呼びかけを行ったが、精密検査の受療率は、1月末現在で13%であった。来年度は、生徒や保護者に対し、精密検査の必要性を何らかの機会に訴えかけ、受療率の向上を図っていきたい。

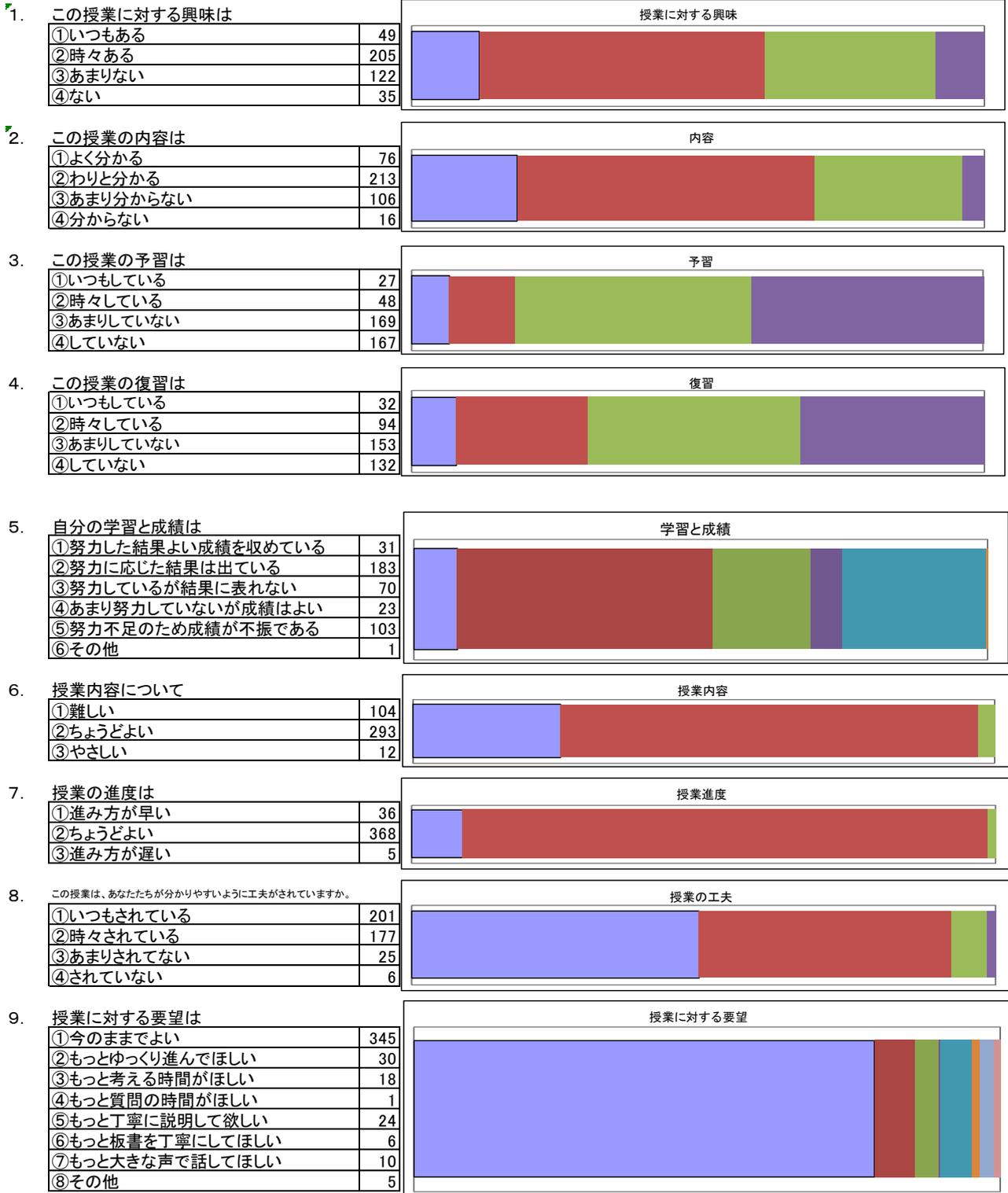
	ゴミの分別と校内の美化に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内のゴミの分別率を80%以上にする。 ・清掃時の生徒の取り組みの向上。(取り組み率 100%) 	B	<p>ゴミの分別は80%以上できている。ほぼ生徒全員が清掃を行っているが、指示されたことのみを行う生徒が大半である。どこを掃除するのかなど、自分で考えて清掃に取り組むよう、清掃担当者からの呼びかけを喚起していきたい。</p>	A	<p>ゴミの分別は80%以上できている。清掃時の生徒の取り組みについても、ほぼ全員の生徒が取り組んでおり、目標は達成しているといえる。来年度は、数値化はできないが、指示されたことだけではなく、進んで清掃に取り組む姿勢を養っていきたい。</p>
教育相談部	生徒の悩みや困り感の早期発見、早期対応を図り、支援していくことで、生徒が学習に集中できる環境を整える。	生徒の多様なニーズに対応する際、保護者の協力や理解が得られるように、学級担任や学年主任との連携やSC、SSWと教育相談部員の連携体制の在り方を工夫する。	B	保護者との連携をはかり、必要な場合は医療機関との連携ができるようにする。また、効果的な支援ができるように、関係職員のケース会を実施する。	B	生徒の多様なニーズに対応する必要が生じ、保護者・医療機関との連携、校内連携の充実などを行なった。SSW・担任を初め、校内連携により早期に対応することがこれからも必要である。
	生徒の出席状況を把握し、欠席等の原因を解明する。悩み等の解決に尽力し、規則正しい生活が送れるように支援する。	欠席・健康調査や学校生活アンケートを活用し、早期発見、早期対応につとめ、担任や学年主任との連携等、校内支援体制を作る。	B	不登校生徒や困り感を抱えている生徒、成績不振の生徒に多面的な校内支援ができるように、関係職員の内体制作りをしたい。	B	生徒支援委員会や相談部内での話し合いの中で、困り感を抱える生徒の情報を共有し、連携対応につなげることができた。今後も関係職員との連絡を密にし、早期発見・対応に努めていきたい。
教育研究部	授業研究・学力向上の取り組みの改善に向けて共通理解を図る	積極的に他教員の授業を参観しそこから学ぶ 80%以上の教員が研究授業に参加する	B	1学期中に他教員の授業を参観した教員は42%であった。2,3学期の研究授業を参観していただくことで目標達成が可能であると考えられる。	A	研究授業に参加した教員は80%で、目標を達成できた。さまざまな形で研究授業が行われ、教科をこえて参観することで双方が学ぶことができた。来年度も積極的に授業参観や研究を行い、生徒の学力向上につなげていきたい。

	学校図書館を活性化し、読書活動を推進する	「朝の読書」をきっかけに図書貸出数前年度比2%増	C	貸出冊数は2%減だが、夏休み前や面接週間は4%増となっている。読書週間等で図書委員が呼びかけを行うなどし、貸出冊数増につなげたい。	A	貸し出し冊数は前年度1月末比15%増で、目標を達成できた。学級文庫の配架や図書委員の活動などを通じて、生徒の読書活動を一層推進させていきたい。
広報・渉外部	ボランティア活動や体験学習の機会を増加する。	地域との連携の強化、ボランティア活動参加の案内。(参加のべ2000人以上)	B	ボランティア活動に参加した生徒はのべ900人ほどである。地域との連携にも、今後さらに積極的に取り組んでいきたい。	A	琴平高校芸術祭など地域と連携した活動、地域の美化・福祉などのボランティア活動に参加した生徒はのべ2,400人をこえ、昨年度よりも増加している。体験から学ぶことは多く、生徒たちにとって貴重な学習の機会になっているので、内容を充実させるとともに、継続的な活動を行いたい。
	地域の方や保護者へ、本校の教育活動の発信を行う。	「琴高通信」の充実と年1回発行、ホームページ年間30回以上更新。	A	ホームページの更新は20回をこえ、教育活動の発信の重要な役割を担っている。「琴高通信」にも力を入れ、充実させたい。	A	「琴高通信」・ホームページともに内容も充実し、積極的に本校の教育活動の発信を行った。ホームページでは行事や部活動の活躍を取り上げ、適時に更新が行われている。今後は、「琴高通信」やホームページをさらに多くの方に見てもらえるような広報活動に力を入れたい。
一年団	学習習慣の確立と基礎学力の定着	・漢字テスト、英単語テストの学年平均点80点をめざす。 ・各学期末の欠点保持者への指導を充実させたものにする。(担任による指導100%)	B	漢字テスト82.4点、英単語テスト82.6点と平均点は目標を達しているが、特定の生徒が学習をしていない課題がある。粘り強く指導していく。 欠点保持者の理由を理解し、個々に合った指導を検討することで意欲を高めていきたい。	A	漢字テスト81.5点、英単語テスト80.6点と平均点は目標を達した。しかし、漢字・英単語を活用しての基礎学力の定着には及んでおらず、まだ課題がある。 欠点保持者への指導は担任を中心に行った。学習の習慣化が今後の課題である。

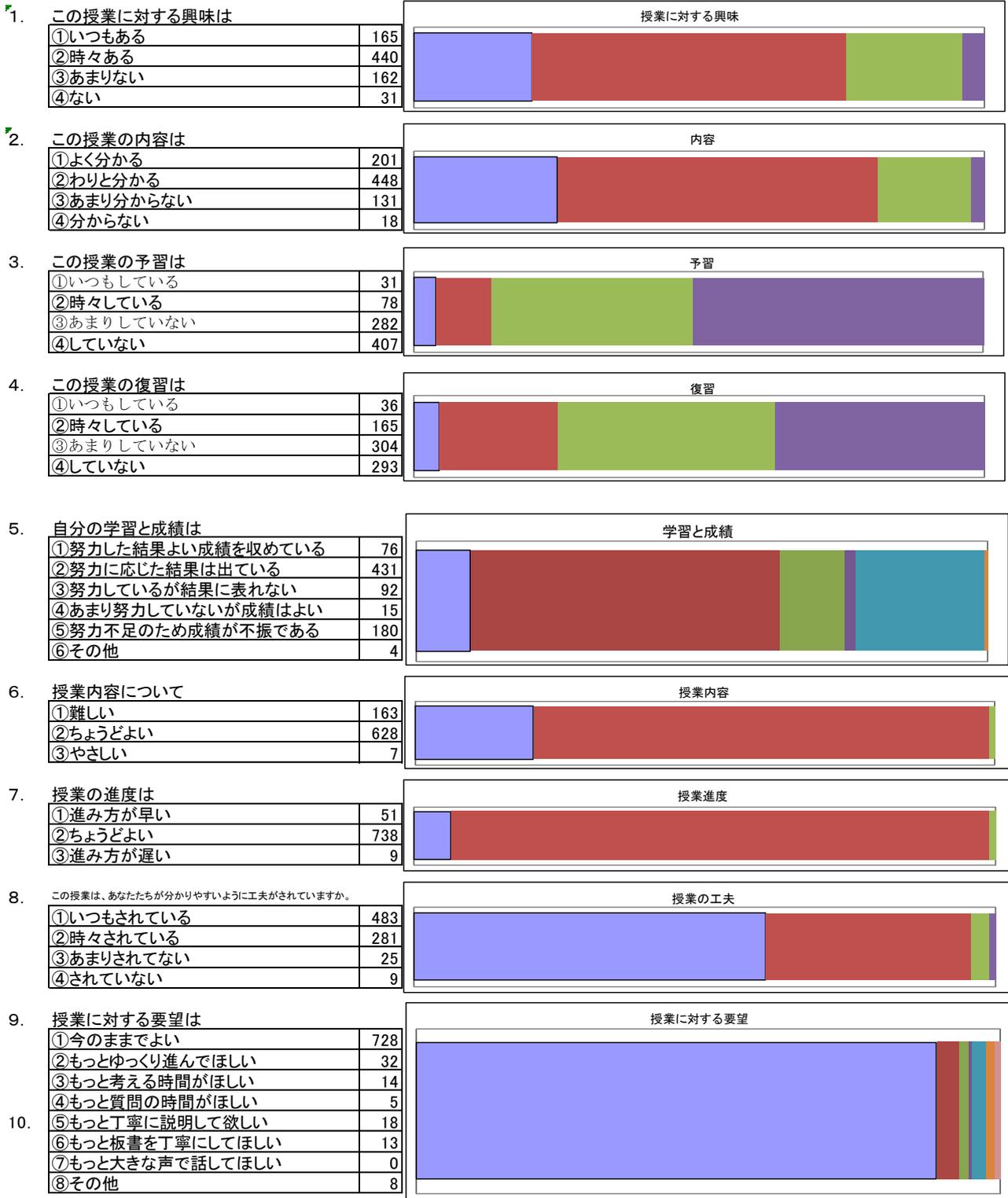
	<p>社会人に向けての基本的な生活習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と協力して、ねぼう等（通院や体調不良は除く）の無断欠席・遅刻者を出さず、主体的・積極的な学校生活を送れるようにする。(100%) ・自分の身だしなみを自分で意識できるようにする。(服装検査で指導を受ける生徒を5%未満にする。) 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡がなく、SHRで不在の生徒には担任から保護者に連絡することで、無断欠席・遅刻はない。しかし、主体性・積極性をもって学校生活を送れている生徒は少ないのは課題である。 ・多くの生徒は身だしなみ等規律を守る学校生活を送っているが、粘り強い指導が必要な生徒もいる。(服装検査で指導を受けた生徒14%、指導後100%改善) 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無断欠席・遅刻は保護者の協力や担任からの連絡でなかった。生徒が主体的・積極的に学校生活を送れるようにする課題がある。 ・多くの生徒は身だしなみ等規律を守る学校生活を送っているが、粘り強い指導が必要な生徒もいる。自ら身だしなみを意識できるようにすることが今後の課題である。(服装検査で指導を受けた生徒7%、指導後100%改善)
二年団	<p>基本的な学習習慣を身に付けさせる</p>	<p>漢字テスト、英単語テストで合格できるよう、事前、事後指導をする。 (合格率漢字テスト93%以上、英単語テスト90%以上)</p>	<p>C (漢字テスト91.3%、英単語テスト78.5%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標点数を設定させ、その目標に向けて自分で勉強を進める習慣をつけさせる。 ・英単語テストの対策プリントを段階別に数種類作り、自分の力に応じたプリントを選ばせる。 	<p>C</p>	<p>合格率は漢字テスト88%、英単語テスト76%で、目標には遠く及ばなかった。目標点数の設定や、段階別対策プリントにより、学習に熱心に取り組む生徒は増えたが、テストの難易度が上がると点数が大きく下がる。また欠席等による漢字テストや英単語テスト未受験者も多い。学習への意欲を高めるための方策を今後考えていきたい。</p>
	<p>学校生活における、基本的な生活習慣を確実に身に付けさせる。</p>	<p>時間を守らせる、服装を整えさせる、言葉遣いはその都度注意する、といった指導を日常的に行う。(不注意による授業遅刻を0にする。)</p>	<p>B (服装や言葉遣いなどの注意は素直に聞き入れるようになりつつある。不注意による授業遅刻は減ってきている。)</p>	<p>体育館行事など、クラスで集合する時に、出席番号順に整然と並べるよう、その必要性を説明し、理解させる。また、集合時の担任による服装確認を確実にを行う。</p>	<p>B</p>	<p>服装に関しては、注意を受けるとすぐに直そうとするようになってきた。不注意による授業遅刻は0にできなかったが、減少している。今後は学校生活における基本的な生活習慣を自ら進んで確立できるよう、ルールを守ることの必要性を十分に説明して行く必要がある。</p>

三年 団	学習習慣の確立と基礎 学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・英単語テストでの不合格者の割合を5%未満にする。 ・各学期末の欠点保持者を3%未満にする。 	C	1学期の不合格者の割合は、漢字テストは3.1%、英単語テストは7.6%であった。1学期末の欠点保持者は5%であった。学習に対する意欲が低いのが原因だと考えられるので、努力するよう、こまめな声かけをしていく。	C	年間でみると不合格者の割合は、漢字テストが3.4%、英単語テストが7.9%だった。2学期末の欠点保持者は6.7%だった。進路決定後の学習に対する意識の低下は想像以上であった。モチベーションを維持するための取り組みが必要である。
	社会人に向けての基本的 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・休まない。 ・ねぼう等（通院や体調不良は除く）の遅刻者を各月5人以内にする。 ・服装検査で指導を受ける生徒を5%未満にする。 	C	欠席する生徒はほぼ決まっている。体調不良による遅刻が多い。頭髪検査では12.5%が指導を受けている。考査前や始業式などは8%程度に下がるので、普段から頭髪や服装の不備のある生徒に注意し、意識付けをする。	B	年間を通じて決まった生徒の欠席や遅刻が多かった。各月の遅刻者を5人以内にすることはできなかった。服装検査についても制服の着方や頭髪等に対しての認識が甘い生徒が多く、指導を受ける生徒は10%程度おり、目標の5%未満は達成できなかった。しかし、その一方でいつもきちんとしている生徒の割合も高かった。今後も粘り強い指導が必要である。

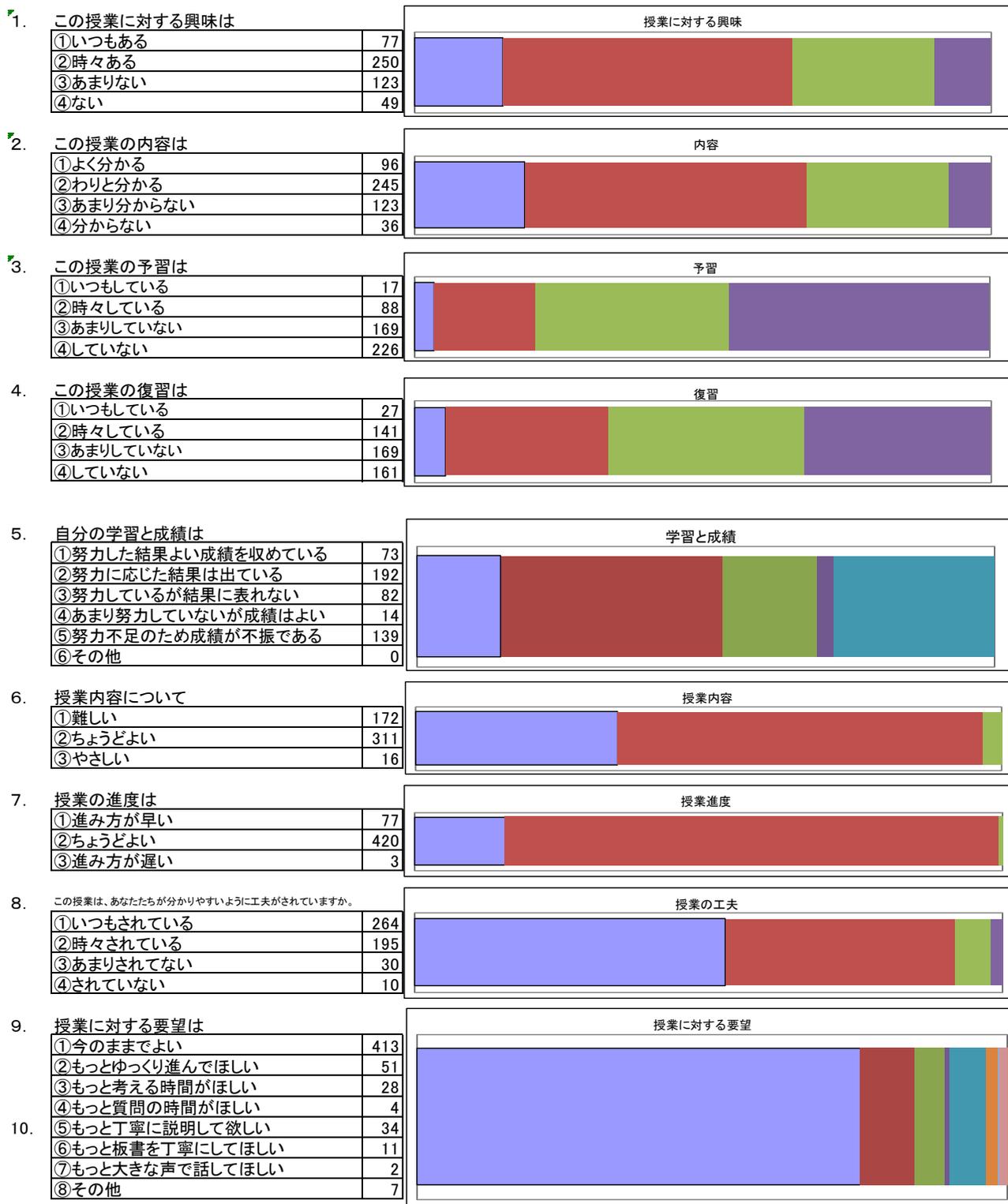
国語



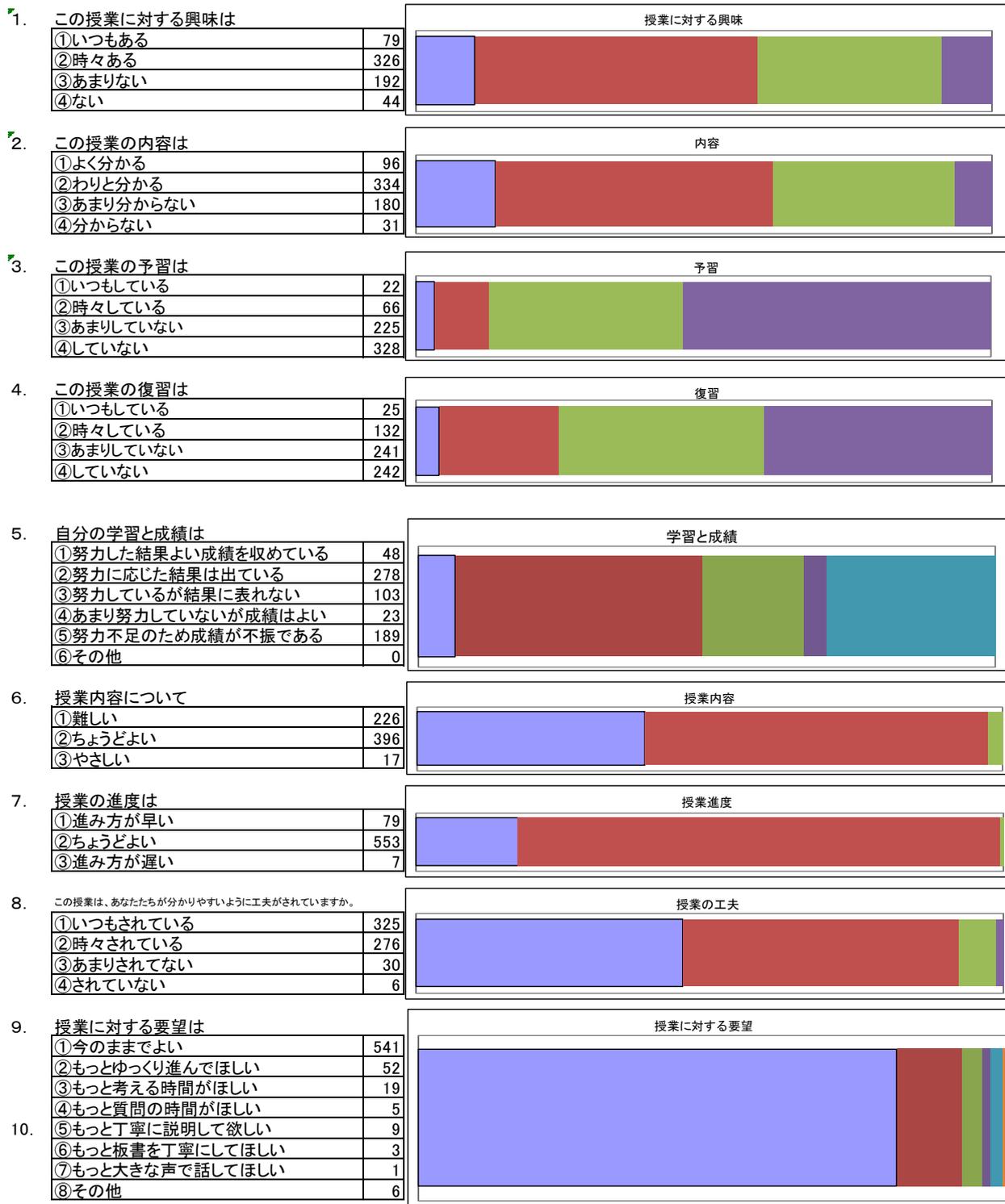
地歴公民



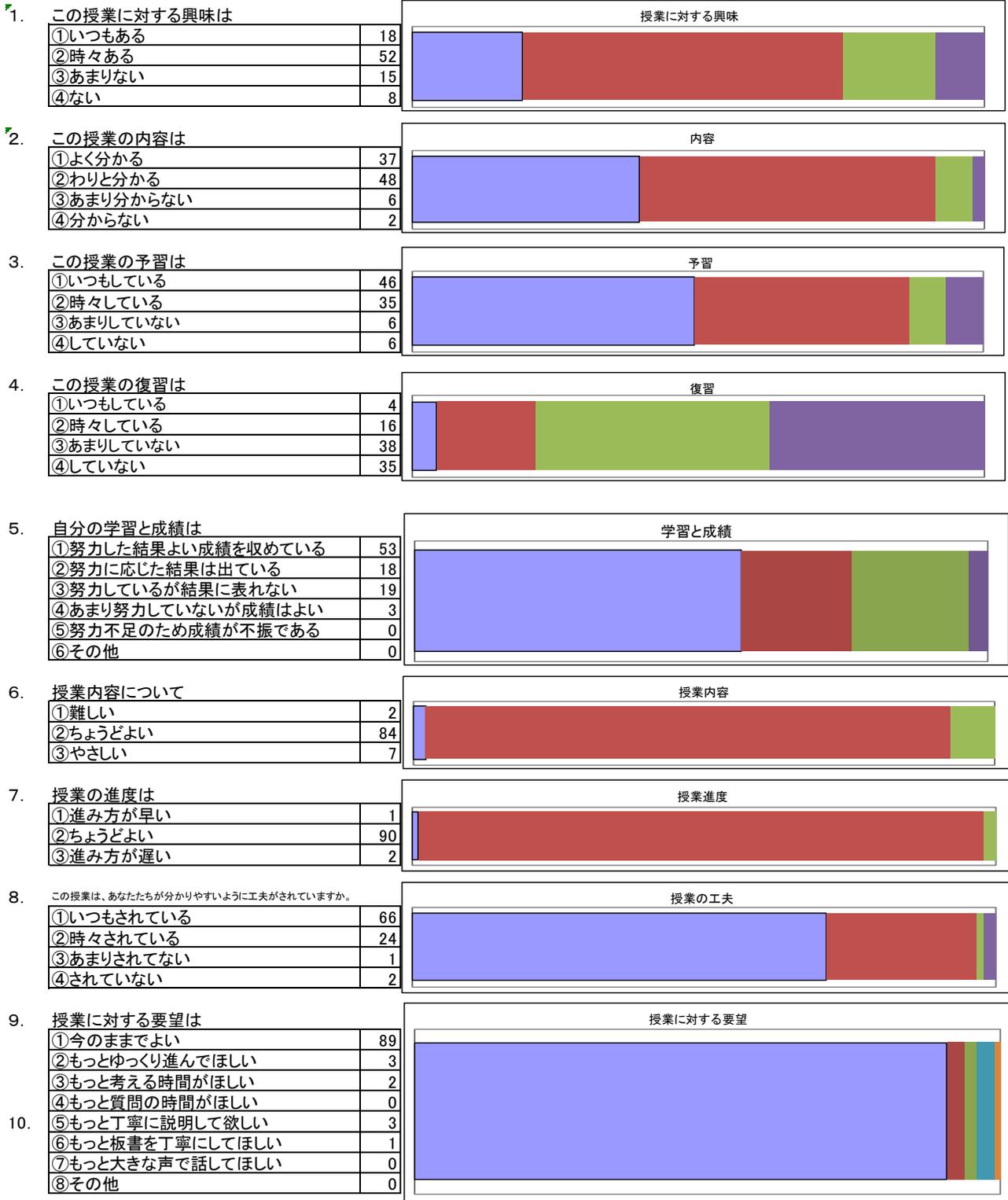
数学



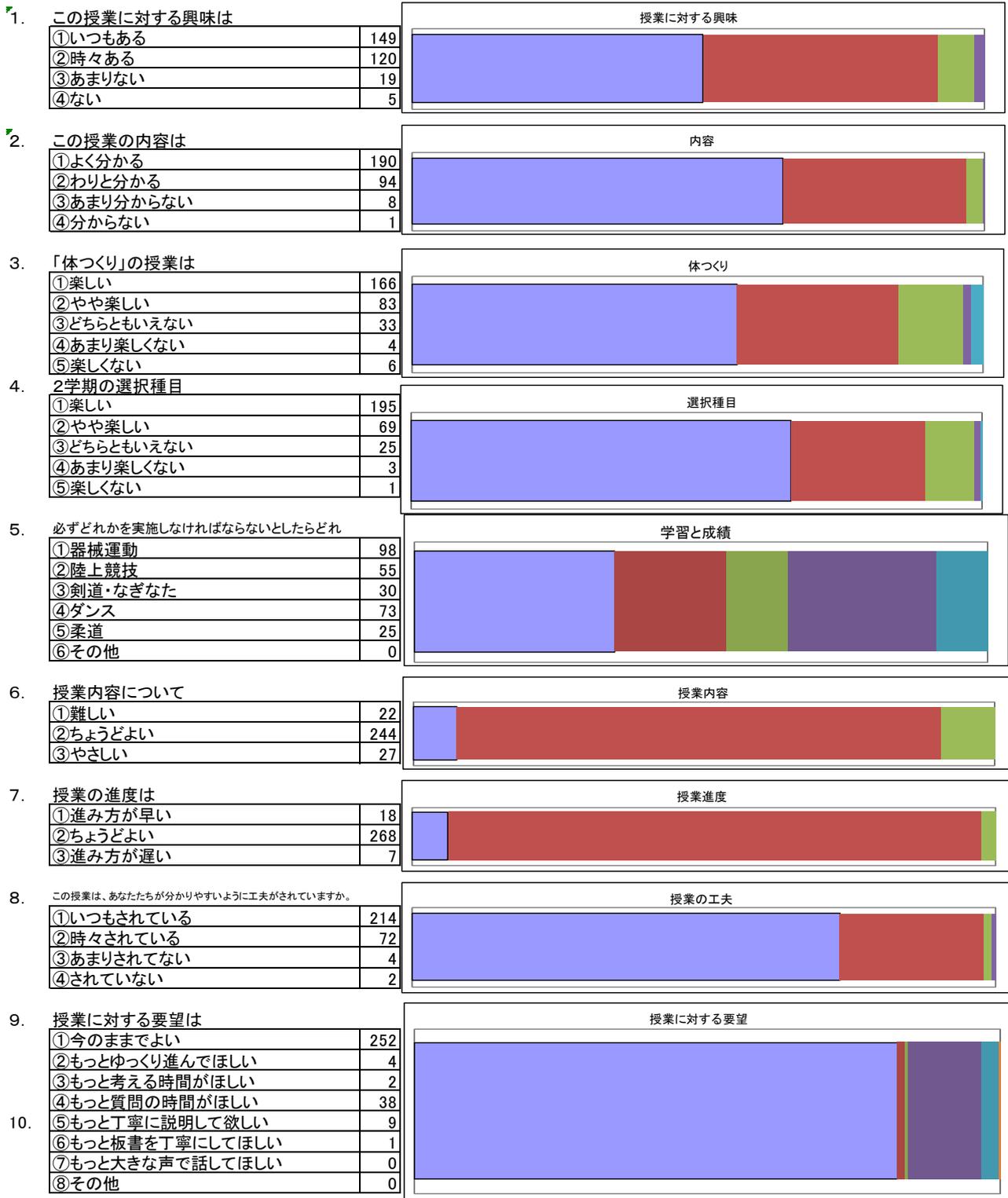
理科



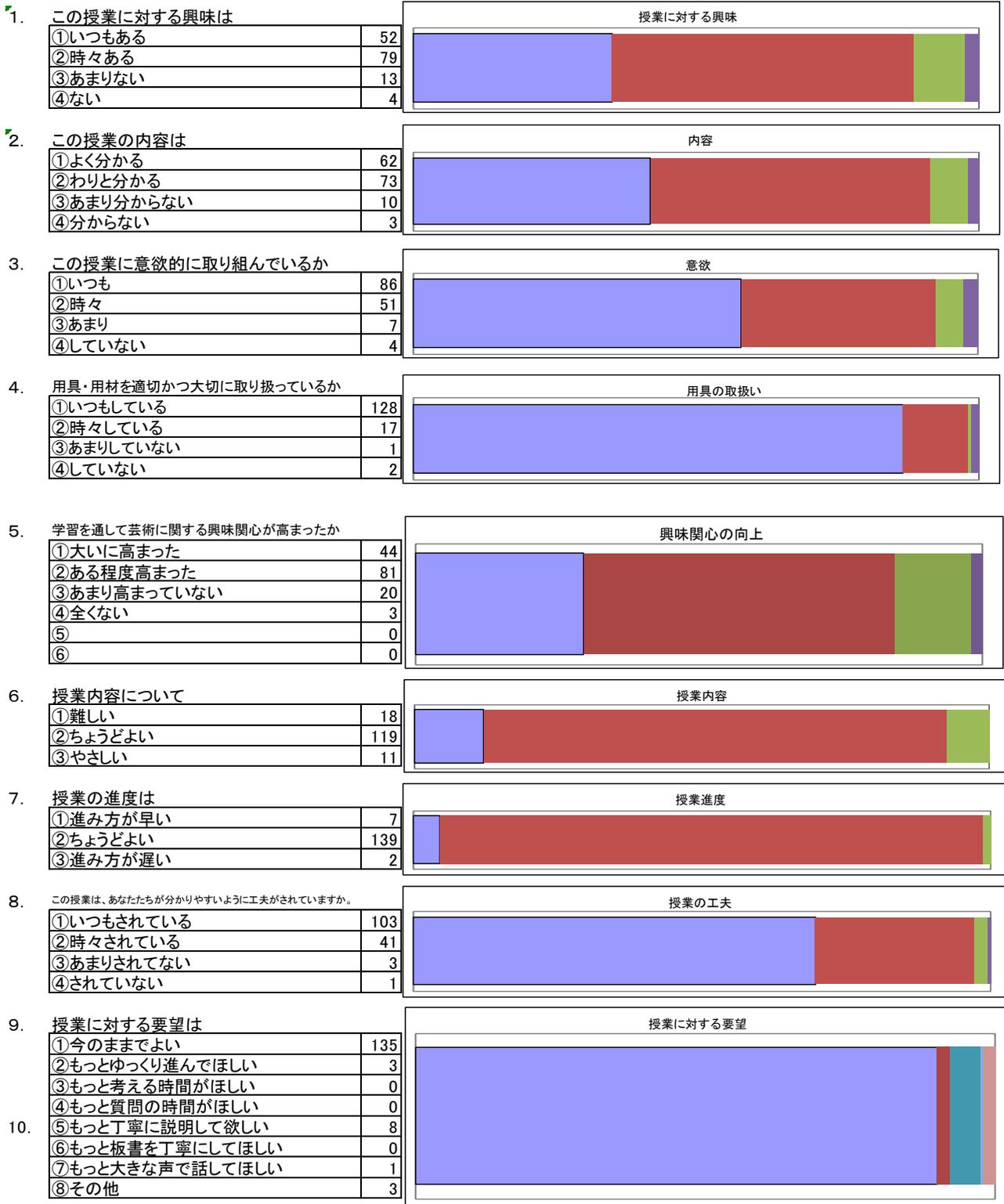
保健



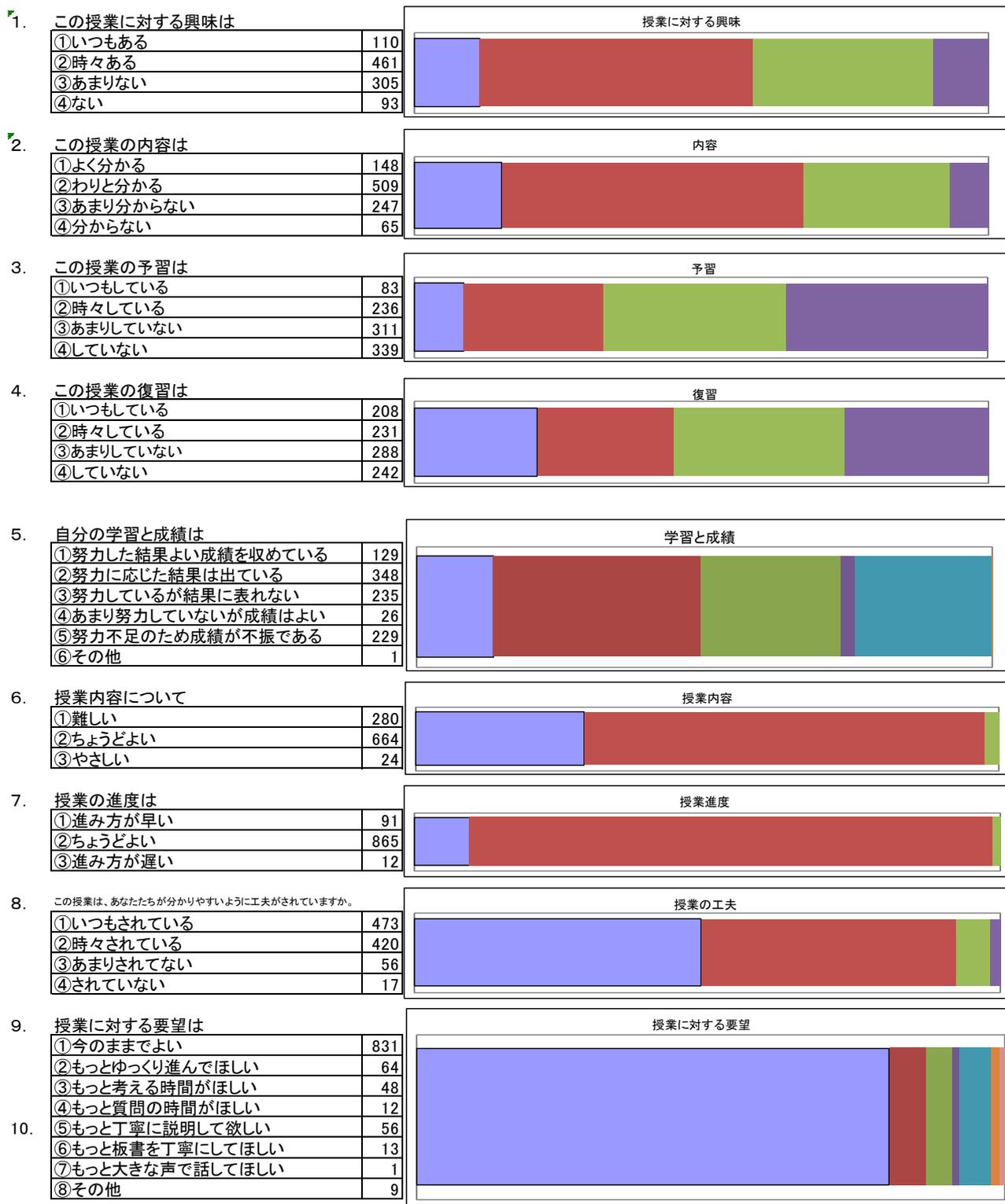
体育



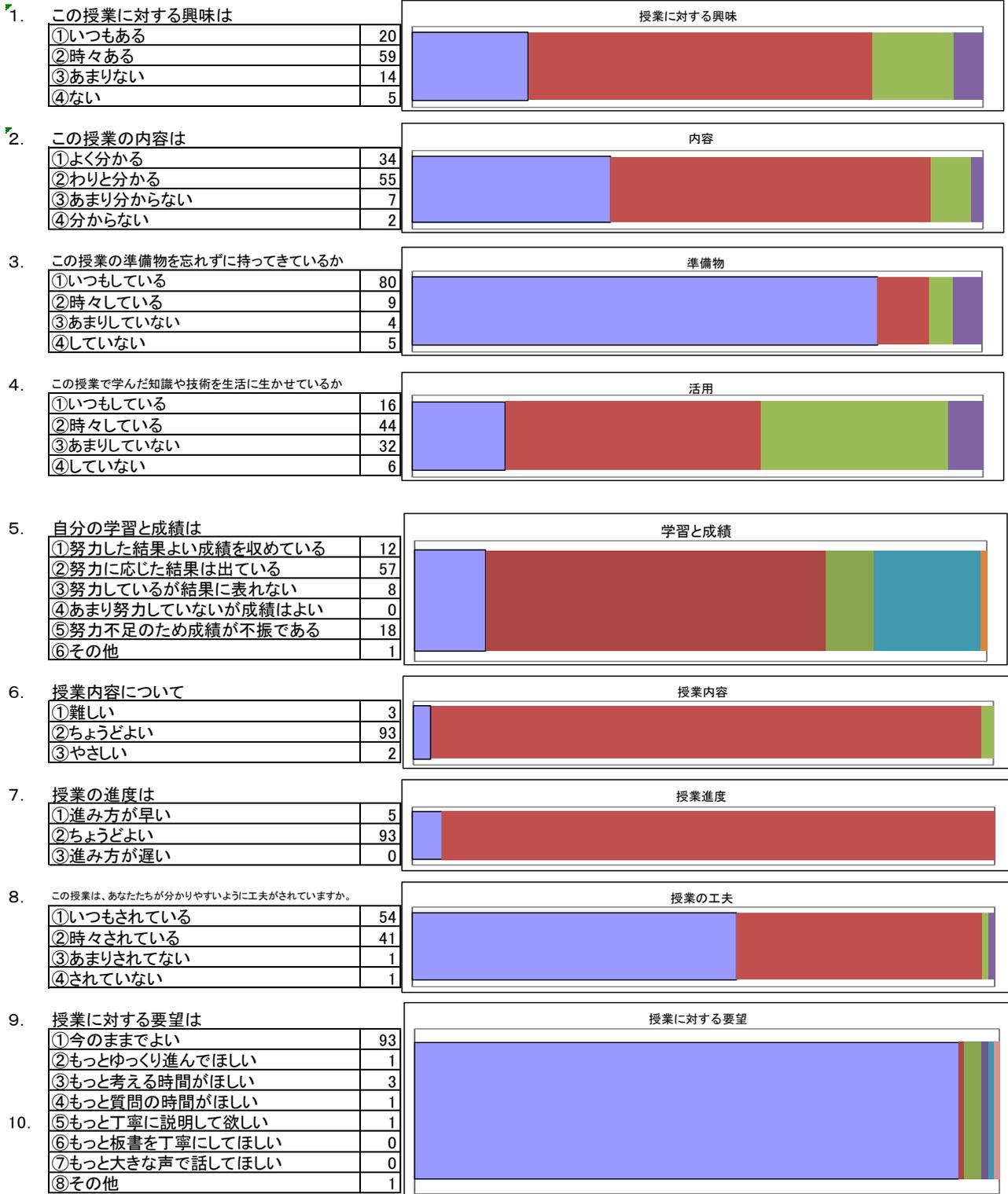
芸術



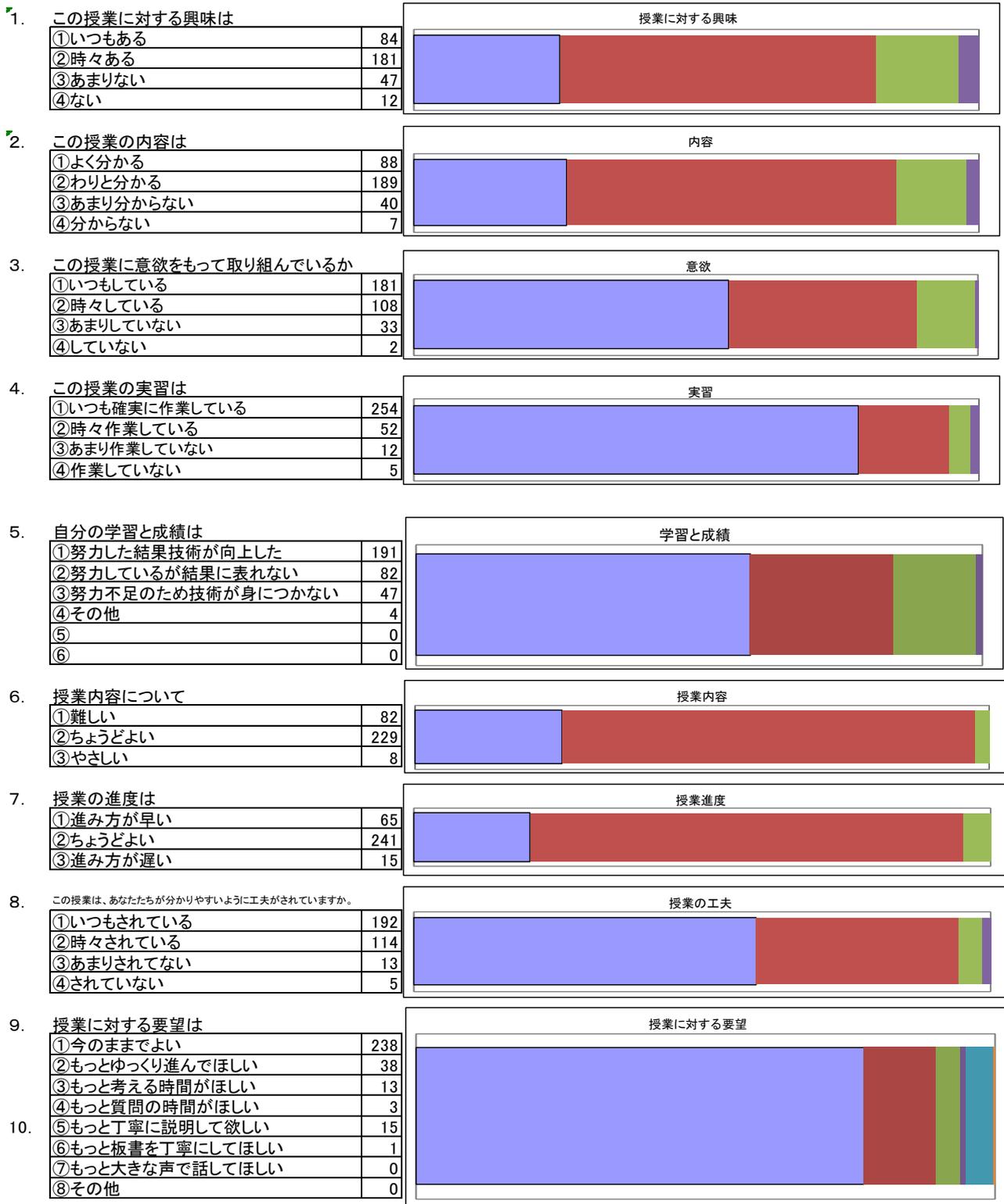
英語



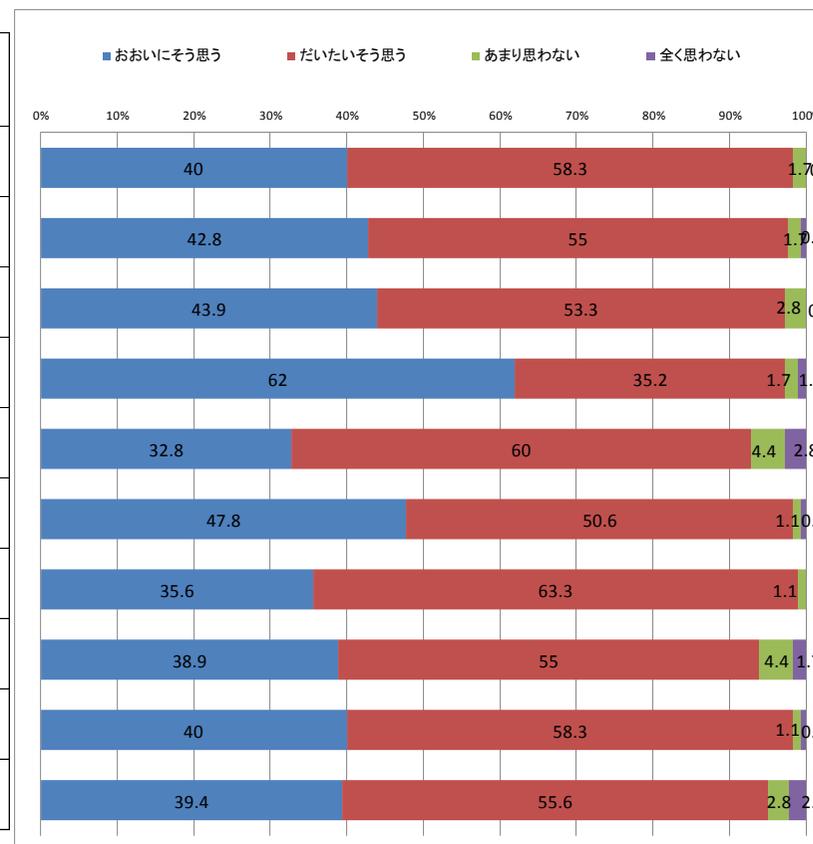
家庭



商業情報



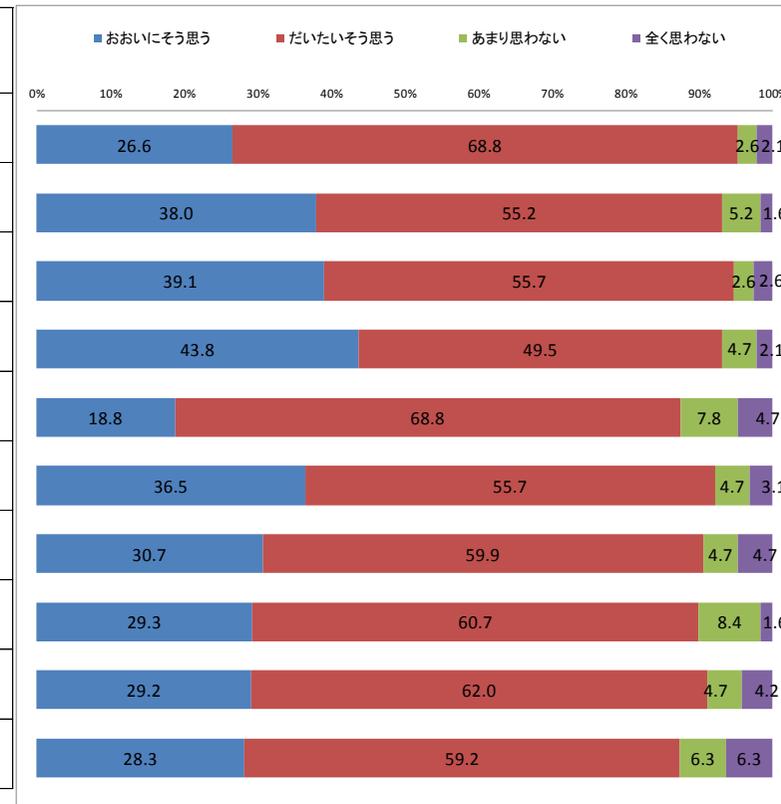
		おおいにそう 思う・だいたい そう思う(%)	平均値 (4段階)
1	自分の適性や進路目標にふさわしいコースが設定されている。	98.3	3.4
2	個人面接、進路見学会や進路相談会などを通じて、進路について考えることができる。	97.8	3.4
3	体育祭や文化祭などの学校行事では、自発的に活動できるようになっている。	97.2	3.4
4	部活動や課外などで、放課後の時間を有意義に使うことができるようになっている。	97.2	3.6
5	ボランティア活動に参加する機会が多くあり、自主的に活動できる環境が整っている。	92.8	3.2
6	差別やいじめを許さない学習環境で、安心して過ごすことができる。	98.4	3.5
7	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる。	98.9	3.3
8	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	93.9	3.3
9	授業や課外での先生方の学習指導は、熱心で適切である。	98.3	3.4
10	琴平高校での高校生活に満足している。	95.0	3.3



アンケートで2または1を選択した理由

- 1.
- 2.
3. 文化祭はしていいことが限られている。
- 4.
5. 興味がなかった。部活が忙しくて、する時間がない。参加したいがボランティアの数が少ない。
- 6.
- 7.
8. 甘い部分もあった。勉強時間が少ない。
- 9.
10. 面白くない。

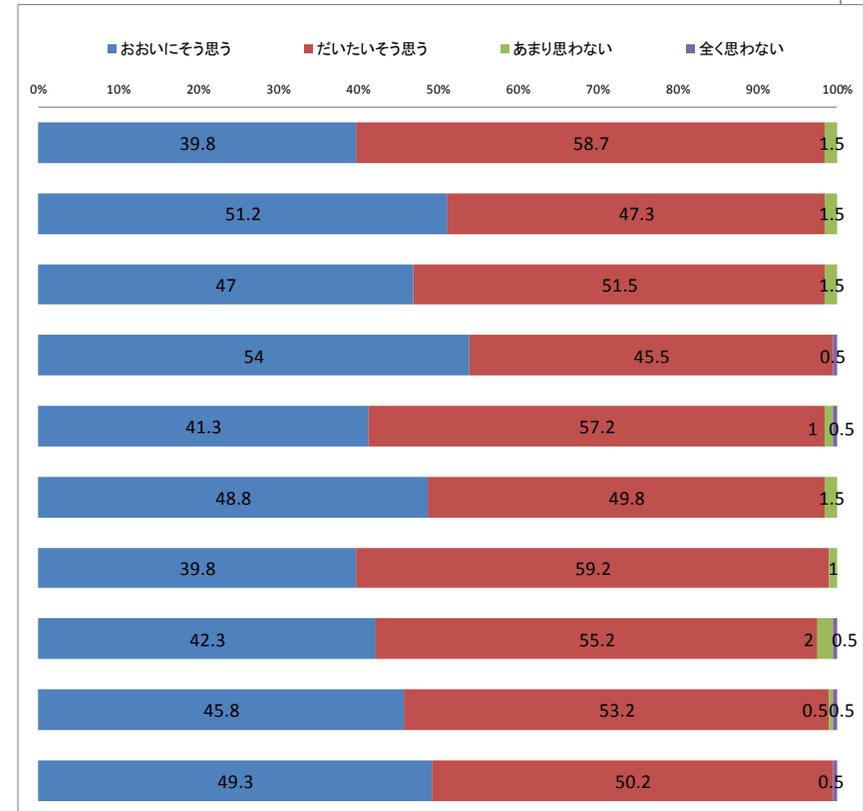
		おおいにそう思う・だいたいそう思う(%)	平均値(4段階)
1	自分の適性や進路目標にふさわしいコースが設定されている。	95.4	3.2
2	個人面接、進路見学会や進路相談会などを通じて、進路について考えることができる。	93.2	3.3
3	体育祭や文化祭などの学校行事では、自発的に活動できるようになっている。	94.8	3.3
4	部活動や課外などで、放課後の時間を有意義に使うことができるようになっている。	93.3	3.3
5	ボランティア活動に参加する機会が多くあり、自主的に活動できる環境が整っている。	87.6	3.0
6	差別やいじめを許さない学習環境で、安心して過ごすことができる。	92.2	3.3
7	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる。	90.6	3.2
8	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	90.0	3.2
9	授業や課外での先生方の学習指導は、熱心で適切である。	91.2	3.2
10	琴平高校での高校生活に満足している。	87.5	3.1



アンケートで2または1を選択した理由

- 1 コースが少ない。
- 2 自分のしたいことが分からない。機会が少ない。
- 3 体育祭の種目が少ない。
- 4 休みがない。
- 5 あまり知らない。忙しくて参加できない。もっと増やして欲しい。
- 6 安心できない。いじめはなくなる。
- 7 誰にもなかなか相談できない。相談するのが苦手。
- 8 あまり勉強できなかった。不合格のときがあった。やる気が起きなかった
- 9
- 10 あまり楽しくない。校則が厳しい。友だち関係が面倒。先生と合わない。授業に対する生徒の態度がふさわしくない。

		おおいにそう思う だいいたいそう思う(%)	平均値 (4段階)
1	自分の適性や進路目標にふさわしいコースが設定されている。	97.3	3.3
2	個人面接、進路見学会や進路相談会などを通じて、進路について考えることができる。	97.8	3.4
3	体育祭や文化祭などの学校行事では、自発的に活動できるようになっている。	96.2	3.4
4	部活動や課外などで、放課後の時間を有意義に使うことができるようになっている。	98.9	3.4
5	ボランティア活動に参加する機会が多くあり、自主的に活動できる環境が整っている。	96.7	3.4
6	差別やいじめを許さない学習環境で、安心して過ごすことができる。	95.7	3.3
7	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる。	95.1	3.3
8	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	94.6	3.3
9	授業や課外での先生方の学習指導は、熱心で適切である。	98.4	3.4
10	琴平高校での高校生活に満足している。	98.4	3.3



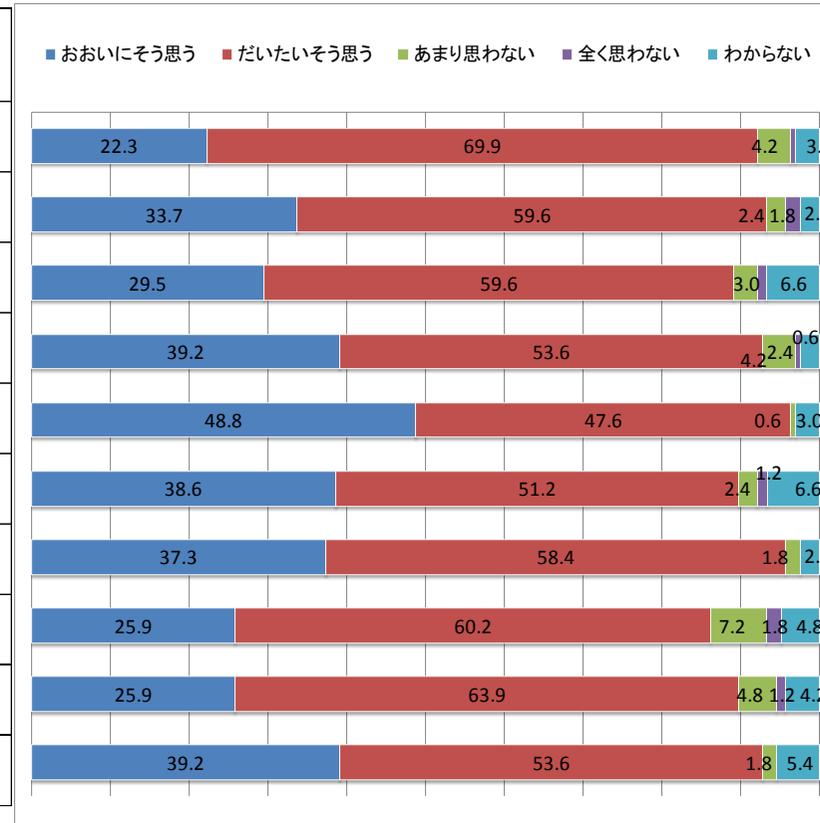
アンケートで2または1を選択した理由

- 1 授業についていけない。
- 2
- 3 ルールが厳しい。もっと自由度を上げる。
- 4 もっと楽しいことがある。
- 5 参加しにくかった。
- 6 いじめや差別は先生方の目に触れないところで起こっていることなので安心はできない。
- 7 そんなことができる人はとても少ない。相談したことがない。
- 8 たまにさぼってしまう。
- 9
- 10

高校生活を振り返り、学校や後輩に伝えたいこと

- ・勉強やテストにしっかり取り組み、学校生活を楽しんでください。
- ・ファイト！ ・がんばれ ・勉強大事
- ・提出物など、やることは期限内にする事を心掛けるべき。
- ・すばらしい場所だと思う。 ・琴高来てよかった。楽しかった。
- ・小テスト、ボランティアに頑張ってください。
- ・大変だろうけど目標の進路に向けて頑張ってください。
- ・面接練習は長い時間をかけてしっかりと練習したほうが良いです。
- ・高校生活を楽しんでください。
- ・今しか楽しめない時間を大切に過ごしてください。
- ・休まずに頑張って。 ・夏は暑いし冬は寒いね。
- ・高校生活は3年と長いように思いますが、日々過ごしていたら早いので大切に。
- ・食堂のごはんおもしろかった。
- ・高校生活なんてあつという間。充実。無駄に過ごす後悔が残る。
- ・欠点はとらないようにしましょう。
- ・勉強と部活もしながら楽しんでください。

		おおいにそう思う・だいたいそう思う(%)	平均値(4段階)
1	生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	92.2	3.2
2	コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	93.3	3.3
3	進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	89.1	3.3
4	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	92.8	3.3
5	体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	96.4	3.5
6	部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	89.8	3.4
7	差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	95.7	3.4
8	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	86.1	3.2
9	学校からの文書やホームページを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	89.8	3.2
10	琴平高校での高校生活に満足している。	92.8	3.4



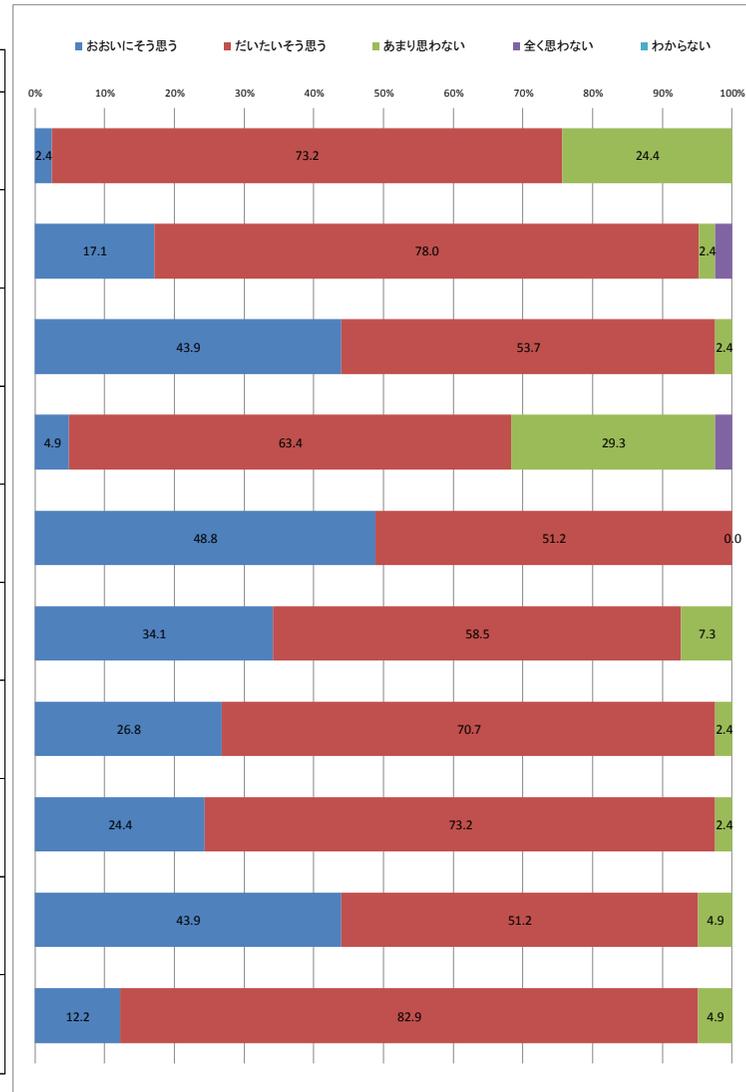
その他のご意見

先生、友達に恵まれ、琴平高校に入学させて良かったと思っています。
とても素晴らしい学校です。
3年間お世話になりました。ありがとうございました。
担任の先生や部活動の先生、友人にもめぐまれ楽しい学校生活で大変満足しています。
子どもが学校生活を毎日楽しく過ごせていたので良かったと思います。
ピアスをしている生徒を町中で見かけますが、学校での指導はどうなっていますか。
まだまだ生徒に歩み寄る必要があるのでは。

令和元年度 学校評価アンケート（教員対象）

令和2年1月実施 回答者（41名）

		満足度はどの程度か （割合）	平均値 （4段階）
1	生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	75.6	2.8
2	コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	95.1	3.1
3	進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	97.6	3.4
4	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	68.3	2.7
5	体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	100.0	3.5
6	部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	92.6	3.3
7	差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	97.5	3.2
8	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	97.6	3.2
9	学校からの文書やホームページを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	95.1	3.4
10	琴平高校での高校生活に満足している。	95.1	3.1



アンケートで2または1を選択した理由

- 1 欠席が多かった。朝校門で挨拶をしても無視する生徒が多い。一部の生徒の授業態度が良くない。できている生徒はいつもできているが、そうでない生徒は改善がみられない。落ち着きがない。
- 2 第1回と第2回の調査で人数が多さく変わった。生徒の意識不足だけでは考えにくい。
- 3 真剣に考えていない。
- 4 「この程度でいい」と甘く考える生徒が多かった。やっている生徒とそうでない生徒の差がかなりある。漢字・英単語テストを完全にないがしろにしている者もいる。写すことが勉強と捉えている感じがする。
- 6 成長を感じる機会があまりにも少ない。部活動で学んだことが普段の生活にはあまり生かされていない。
- 7 悪気なく人を傷つけるような発言をする者が見受けられる。

